

新型コロナウイルスに関する調査レポート 【第2回 パチンコに関する意識調査】



2020年7月3日
株式会社シーズ
シーズリサーチ

調査名

「新型コロナウイルス感染症に関するパチンコへの意識調査(第2回)」

調査目的

新型コロナウイルスに関するパチンコ遊技者の意識や行動を語る

・調査方法

WEBアンケート

・回答者

【SC】 4,823ss

【本調査】 パチンコ遊技者1,000ss

緊急事態宣言解除後にパチンコ店へ

行った400ss / (行きたいが)行っていない200ss

(行きたいが迷っていて)行っていない200ss / (行く気がなく)行っていない200ss

※パチンコ遊技者の定義(過去1年間にパチンコ・パチスロを遊技したことのある方)

・男女構成比

【SC】 男性77.1% 女性22.9%

【本調査】 男性79.2% 女性20.8%

・調査日

2020年6月24日

調査レポート項目

■緊急事態宣言中(5月)と解除後(6月)の余暇参加率(SC)

■緊急事態宣言解除後の遊技参加状況(SC)

■緊急事態宣言解除後にパチンコ店へ行かない理由

■遊技する際の感染予防対策について

■パチンコ店の感染予防対策の認知

■パチンコ店の感染予防対策の必要性

■パチンコ店の感染予防対策に対する満足度

■遊技意向者の再開目安について

■現在の遊技環境に対するストレス

■遊技環境に対するストレスの理由

【調査会社】 株式会社シーズ シーズリサーチ

東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2階

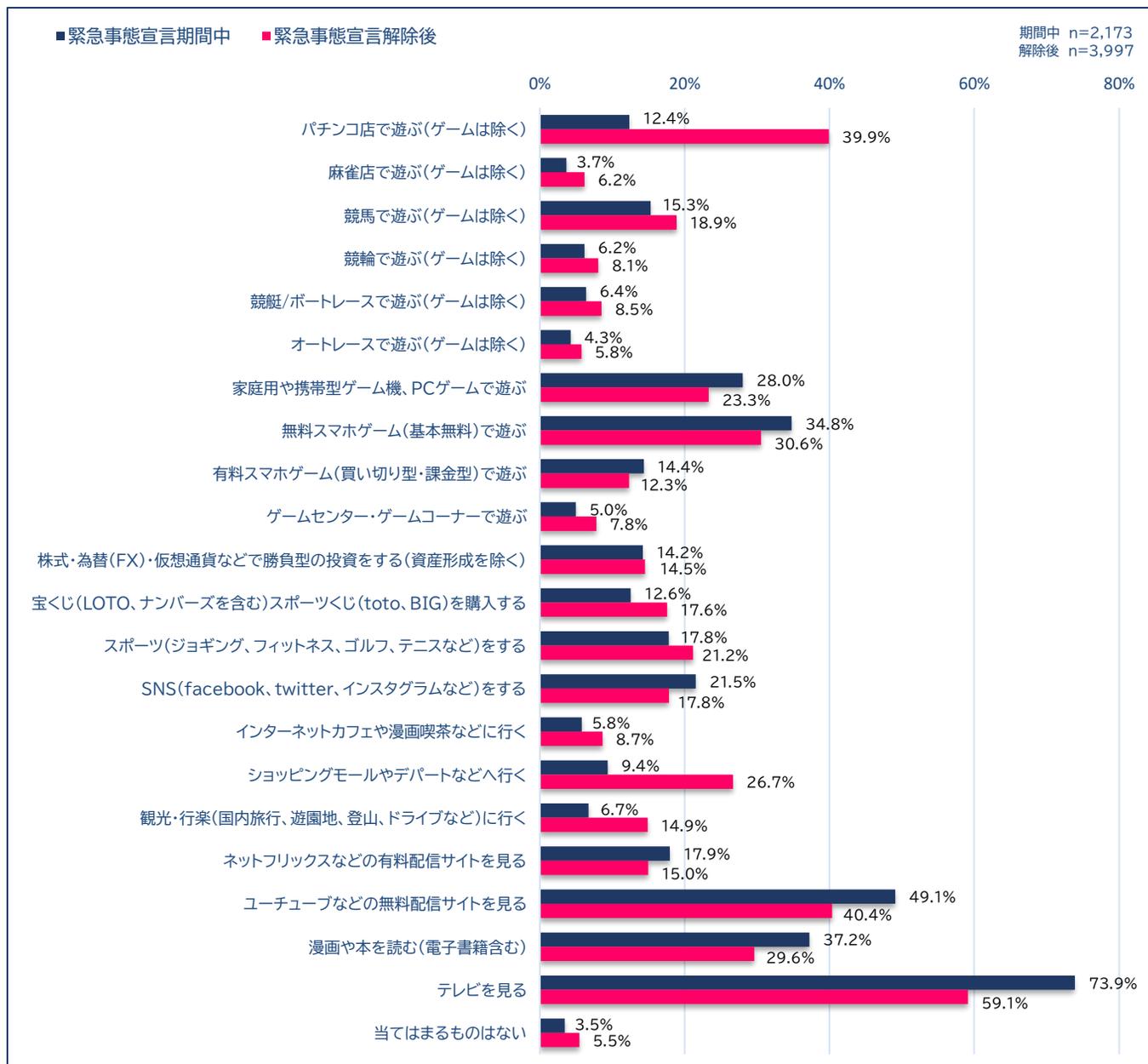
電話:03-6806-0548

メール:research@sees.co.jp

—緊急事態宣言中(5月)と解除後(6月)の余暇参加率—

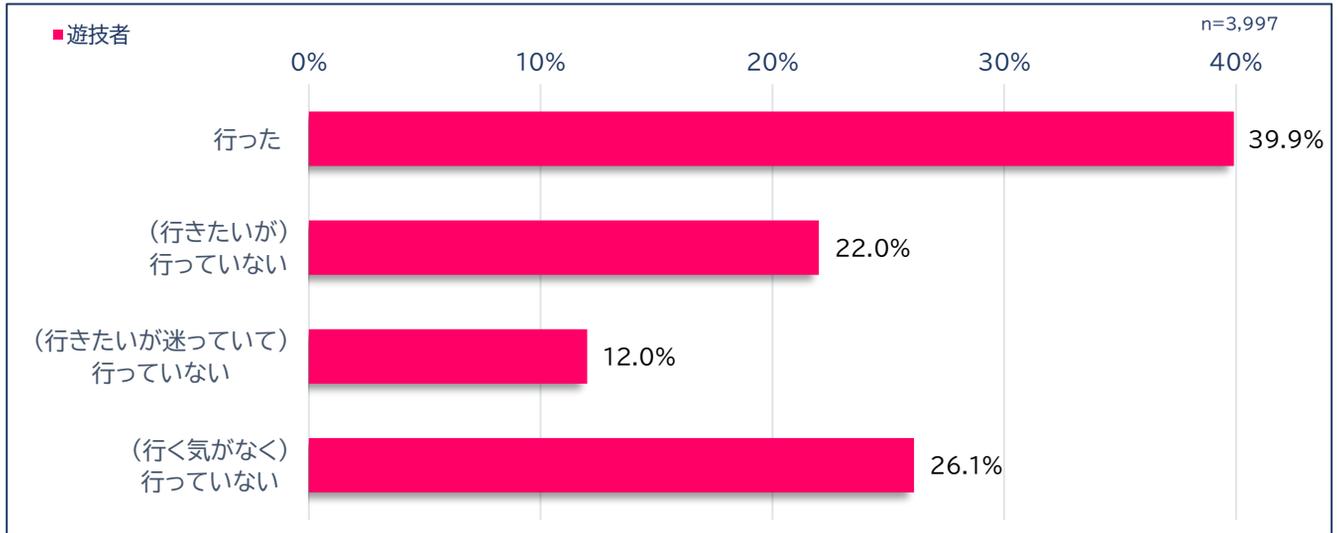
パチンコ遊技者の緊急事態宣言期間中と解除後の余暇参加率を比較すると、解除後は「パチンコ」「ショッピング」「観光」など外出を伴う余暇で伸びが見られた。一方で「テレビ」「無料配信サイト」「漫画や本」など在宅で楽しむ余暇は5月に比べ低下しており、解除後の外出に対する意識が徐々に変化している。

本調査は、対象者をパチンコ遊技者としているため、「パチンコ」は大幅な伸びを見せているが、解除後はまだ4割程度しか遊んでいない。



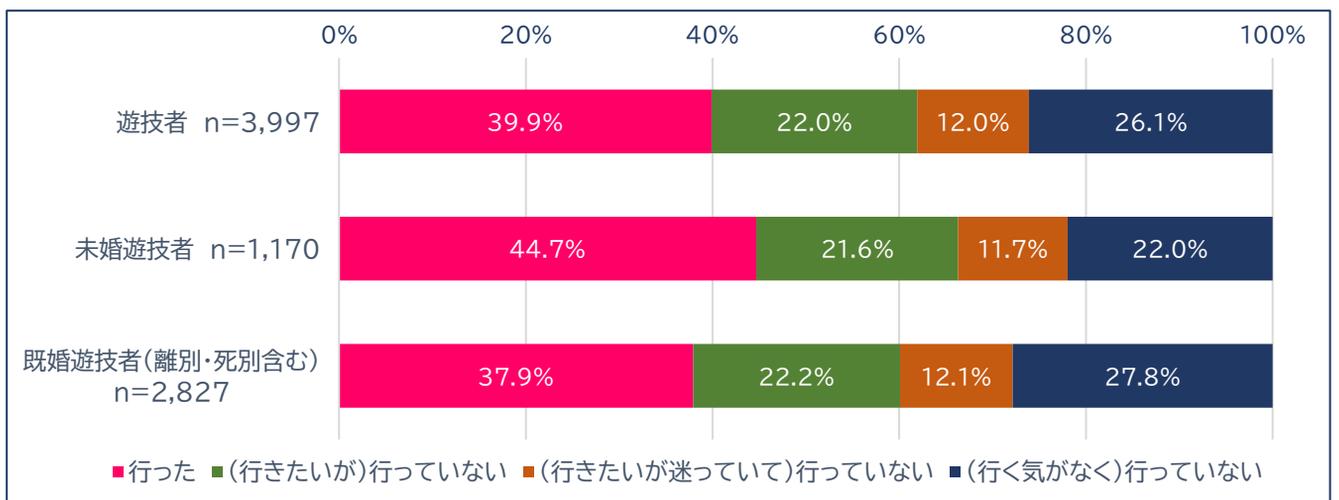
—緊急事態宣言解除後の遊技参加状況—

緊急事態宣言解除後の遊技参加状況について、パチンコ店に「行った」割合は4割程度に留まり、全体の約6割は「行っていない」結果となった。ただし、「行っていない(行きたいが+迷っていて)」といった遊技に意欲のある遊技者は全体で3分の1程度存在している。



—緊急事態宣言解除後の遊技参加状況(未婚・既婚別)—

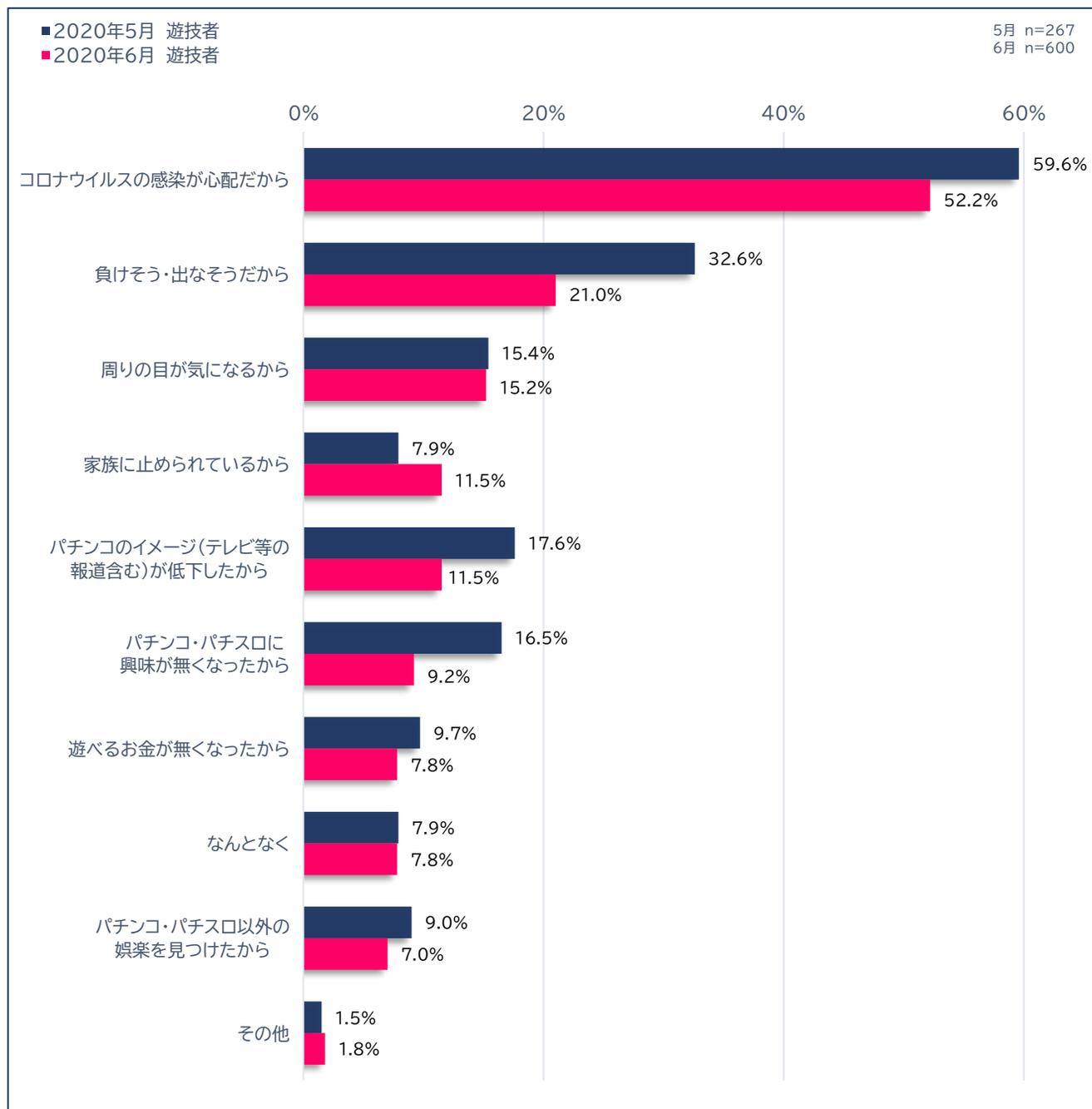
未婚・既婚別に緊急事態宣言解除後の遊技参加状況を見ると、未婚遊技者の「行った」割合は既婚遊技者よりも高い。ただし「行っていない(行きたいが+迷っていて)」の回答割合は未婚・既婚別で見ても大きな差はない。



—緊急事態宣言解除後にパチンコ店へ行かない理由—

緊急事態宣言が解除されてもパチンコ店に行かない理由として、「コロナウイルスの感染が心配」は5月より約7ポイントしか改善しておらず、引き続き最も高かった。

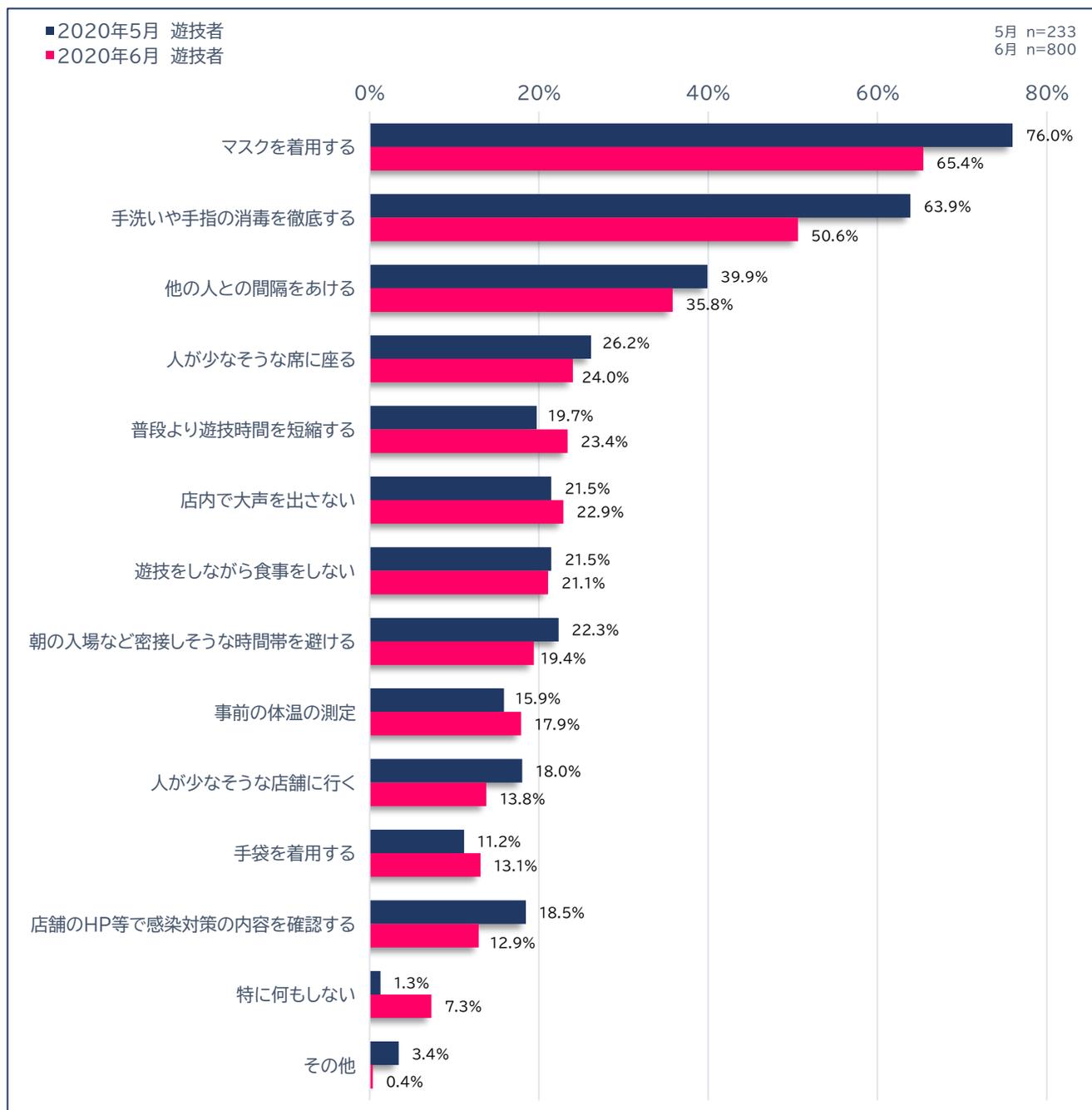
「周りの目が気になる」は前回とほぼ変わらないが、新たに「家族に止められている」が上昇している。自分の理由だけでなく周囲からの目や意見に配慮が必要となるこれらの項目は、今後のコロナウイルスの状況次第で増加していく可能性も考えられる。



—遊技する際の感染予防対策について—

緊急事態宣言解除後にパチンコ店へ行くと回答した遊技者の感染予防対策を5月と6月で比較したところ、どちらも「マスクの着用」「手洗いや消毒」「他者との間隔」の順で高かった。

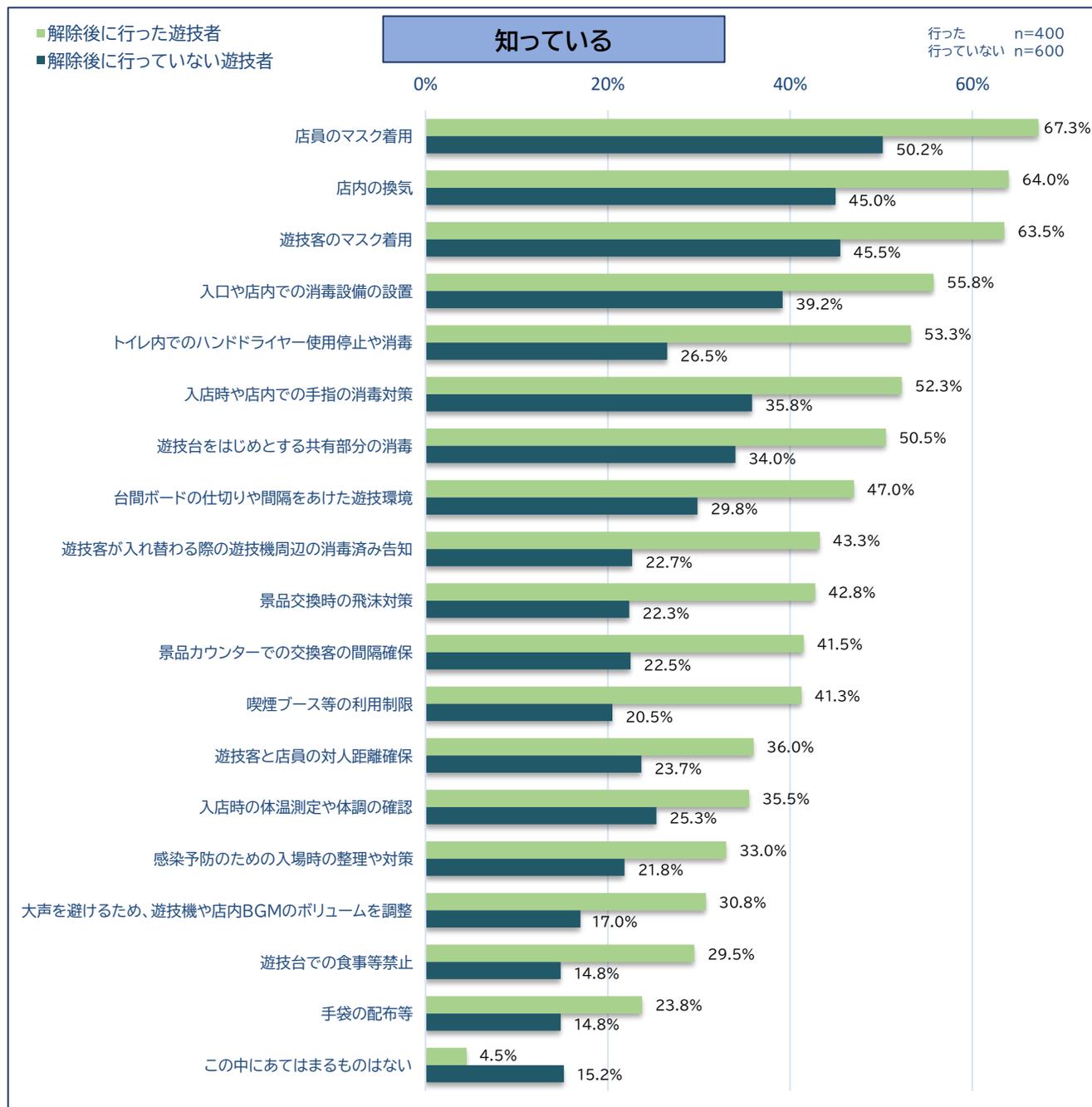
前回と比べ、上位の項目ほど解除後のほうが感染予防対策への意識が低下してきている。今回は「遊技時間の短縮」「店内での大声」「事前の体温測定」などの項目で上昇が見られた。



—パチンコ店の感染予防対策(認知)—

新型コロナウイルス感染予防対策の認知項目について、遊技者がパチンコ店に行った・行っていないに関わらず「店員のマスク着用」が最も高かった。

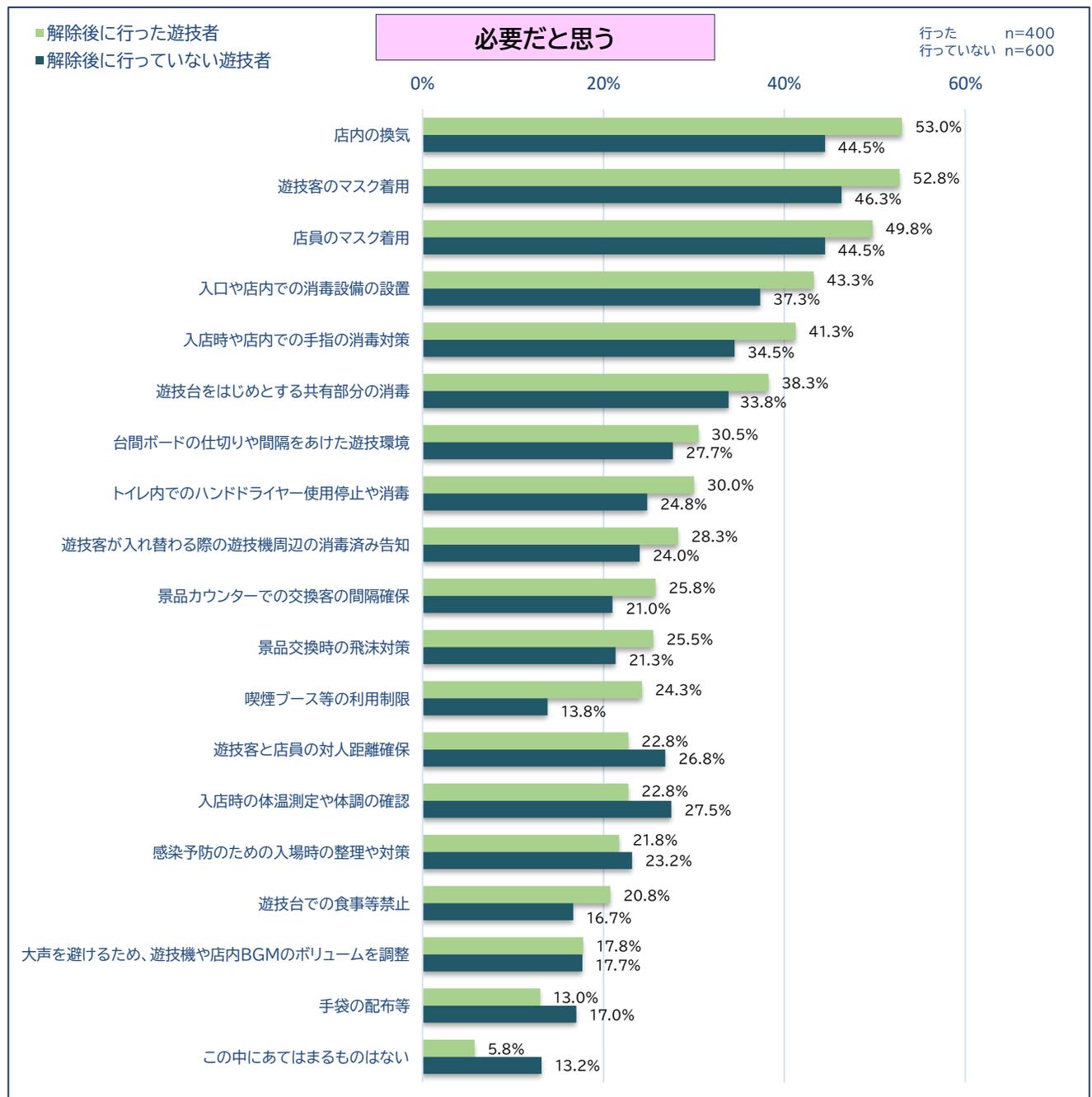
パチンコ店に行っていない遊技者は、行った遊技者に比べすべての項目で認知度が低い結果となっている。コロナウイルスの感染に不安を感じる遊技者が遊技を再開するためには、まずパチンコ店の感染予防対策を知ってもらうことが重要である。



—パチンコ店の感染予防対策(必要性)—

パチンコ店の新型コロナウイルス感染予防対策に対する必要性について、解除後にパチンコ店に行った遊技者は「店内の換気」が最も高く、行っていない遊技者は「遊技客のマスク着用」が最も高かった。

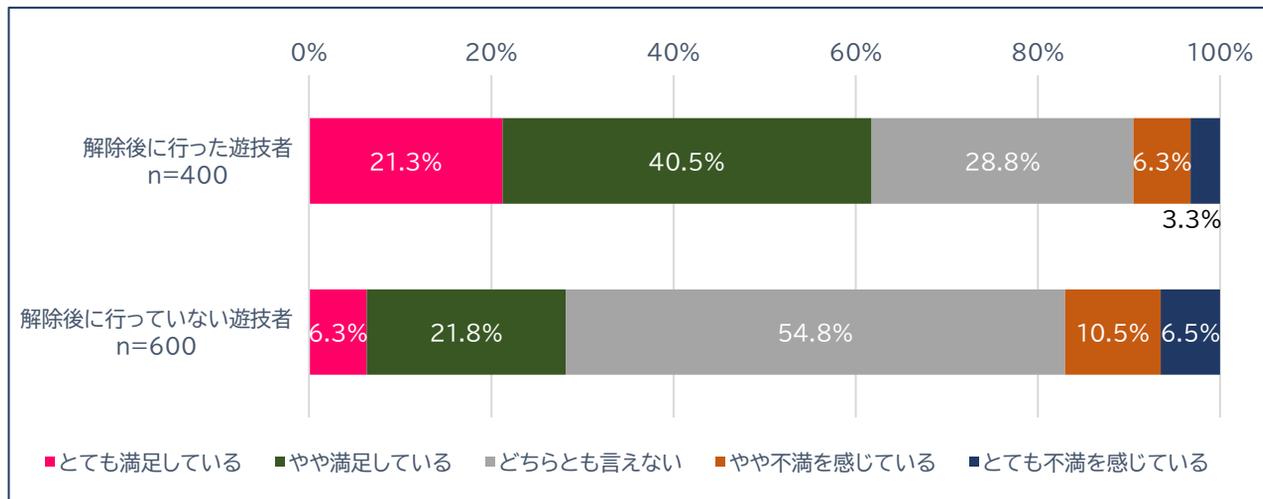
解除後にパチンコ店に行った遊技者のほうが、それぞれの対策に対して必要性を感じている項目が多いが、行った・行っていないに関わらず、一定数は十分な感染予防対策を求めていると考えられる。



—パチンコ店の感染予防対策に対する満足度—

パチンコ店の新型コロナウイルス感染予防対策について、解除後にパチンコ店に行った遊技者は、行っていない遊技者よりも満足度(とても満足+やや満足)が30ポイント以上高かった。

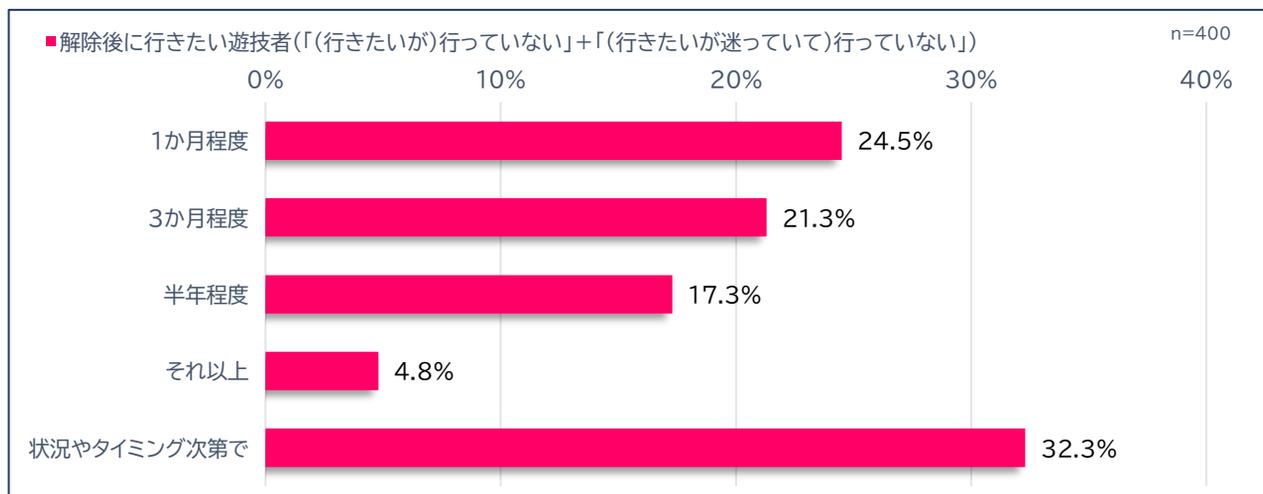
一方、行っていない遊技者を見ると「どちらとも言えない」が5割以上となっており、パチンコ店の感染予防対策がもっと認知されれば、満足度が高まるのではないかと考えられる。



—遊技意向者の再開目安について—

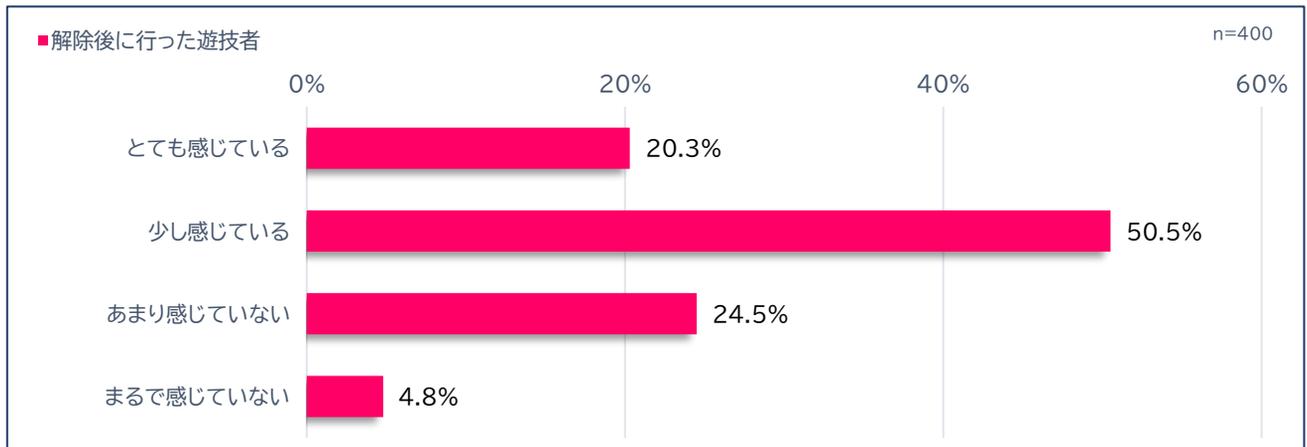
緊急事態宣言解除後の遊技意向者「行っていない(行きたいが+迷っている)」の遊技再開目安について「状況やタイミング次第で」が最も多く32.3%となった。

「1か月程度」と回答した人は24.5%で、3か月以上と回答している人は全体の4割にもおよび、遊技再開までの期間はかなり長い。状況次第では、こういった層が遊技を再開する期間がさらに長引くことも予想され、遊技者数の回復が長期化する恐れがある。



—現在の遊技環境に対するストレス—

新型コロナウイルス流行前と比較した現在の遊技環境に対するストレスについて、「少し感じている」が全体の約5割となり、「とても感じている」まで含めると7割以上が何らかのストレスを感じている結果となった。



—遊技環境に対するストレスの理由—

現在の遊技環境に対するストレスの理由として、「コロナ感染への不安」と「コロナ感染対策による遊技時の不便さ」が4割以上となった。また、4人に1人が「家族や周りからの体裁」をストレスと感じていると回答している。

従来と遊技環境が変わったことで、不安や不便さにストレスを感じていることがうかがえる。

